



TRADERS HOLDINGS CO., LTD.

# トレーダーズホールディングス通信

2021年4月1日～2022年3月31日

Create the  
New Values

新たな価値を創造し続ける

トレーダーズホールディングス株式会社

証券コード:8704

ごあいさつ

## 中核事業に集中し、 中期経営計画の方針や取り組みを 着実に推し進めてまいります。



皆様に「トレーダーズホールディングス通信」をお届けするにあたり、当社を代表してご挨拶申し上げます。

当社グループが、本業であるFX事業に回帰した経営に舵を切ってから早2年、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢等の影響による世界経済の不透明感が増す中においても、中期経営計画に沿った着実なビジネス戦略の展開により、業績の回復から持続的成長を成し遂げ、利益を積み増すことができる企業体質に変革することができました。その結果、経営基盤はさらに強固となり、少しずつではありますが株主やステークホルダーの皆様へ還元策を講じることができ、企業に生まれ変わることができました。

また、本年4月に、当社は東京証券取引所において、スタンダード市場へと市場区分が変更されました。社会的に要請される責任（ESGやSDGs）を全うしうる事業活動やサービス提供に真摯に取り組むことが、企業としてのサステナビリティの追求につながることを自

覚し、国内外の多様な投資者から高い支持を得られる魅力的な企業となれるよう、取り組みを加速してまいります。

当社グループのビジネス領域は、日々、多様なリスクと変化が生起する厳しい経営環境の中にあります。こうした状況にもグループの特長を活かし、競争優位性のあるサービスの迅速提供と独自の分析力を活用したマーケティング戦略による集客力の強化、さらにシステム開発力の強みをより確固なものとする中で、過酷な業界競争を勝ち抜き、さらに上位に飛躍できるよう、全社一丸となってスピーディーに施策を展開してまいります。

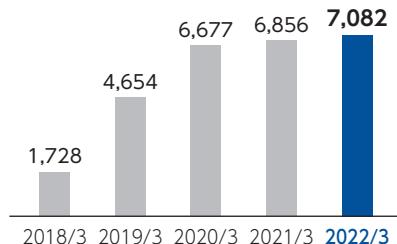
これからの当社の新しい挑戦にご期待いただき、また、皆様の一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長 金丸貴行

## 決算ハイライト (2018年3月期～2022年3月期)

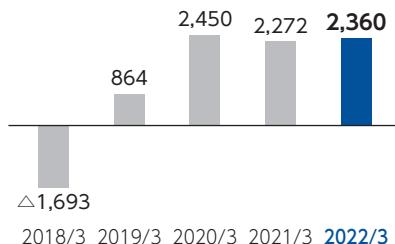
### 営業収益

単位：百万円



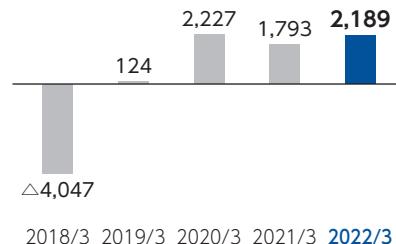
### 経常利益

単位：百万円



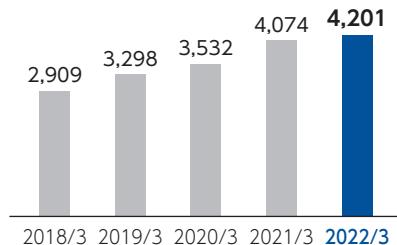
### 親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



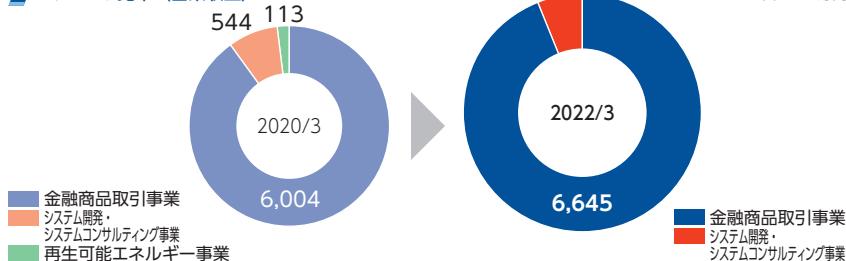
### 販売費及び一般管理費

単位：百万円



### セグメント比率 (営業収益)

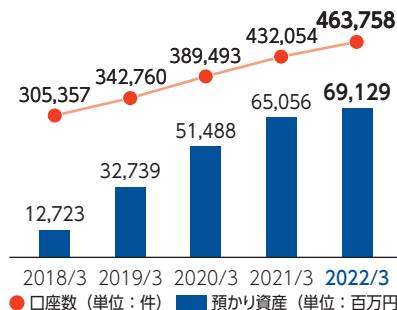
単位：百万円



2020年6月に経営体制が変更となり、これまで3事業を展開していましたが、事業の選択と集中を行い、「再生可能エネルギー事業」から撤退し、本業である「金融商品取引事業」とそれをシステム面から支える「システム開発・システムコンサルティング事業」に経営資源を集中することにより、増収を更新しています。

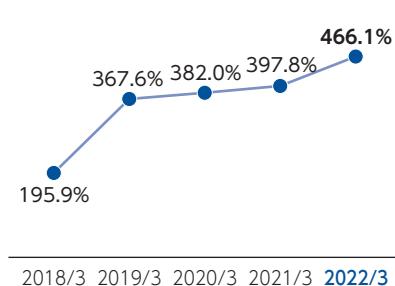
## トレイダーズ証券

### 口座数及び預かり資産



### 自己資本規制比率

単位：%



自己資本規制比率とは、金融商品取引業者の経営の健全性を測る指標のことで、金融商品取引法においては、例えば140%を下回った場合には金融庁に届出を提出することなどが求められています。2018年3月期には、195.9%でしたが、当期末は466.1%と健全性が增强されております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第22期 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	第23期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	増減
営業収益	6,856	7,082	225
受入手数料	47	59	11
トレーディング損益	6,300	6,584	284
金融収益	3	1	△1
その他の売上高	490	427	△63
その他	15	9	△5
金融費用	47	51	4
その他の原価	378	457	79
純営業収益	6,431	6,573	141
販売費及び一般管理費	4,074	4,201	126
取引関係費	1,923	1,832	△91
人件費	1,225	1,462	236
不動産関係費	426	470	44
事務費	76	64	△12
減価償却費	208	217	9
租税公課	69	75	5
その他	145	78	△67
営業利益	2,356	2,372	15
営業外収益	19	17	△1
営業外費用	103	29	△73
経常利益	2,272	2,360	87
特別利益	70	76	6
特別損失	199	59	△139
税引前当期純利益	2,144	2,377	233
法人税、住民税及び事業税	127	284	157
法人税等調整額	228	△96	△324
法人税等合計	355	188	△167
当期純利益	1,788	2,189	401
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△5	△0	5
親会社株主に帰属する当期純利益	1,793	2,189	395

トレーディング損益は、預かり資産が増加したことに加え、為替相場の変動率が高まり、取引量が増加したことにより増収となりました。

その他の売上高は、主にシステム開発・システムコンサルティング事業の売上ですが、当期は、トレーダーズ証券のシステム開発・改修等に注力し、外部売上は減少したものの、暗号資産CFDアプリケーションの開発を進め、「みんなのコイン」[LIGHT FXコイン]のリリースに大きく貢献しました。

当社の中期指針である「Traders Group Vision for 2024」に基づき、金融商品取引事業（前期比10名増）とシステム開発・システムコンサルティング事業（前期比32名増）を大幅に人員増強したこと等により人件費が増加いたしました。

繰延税金資産96百万円の計上により税効果会計を適用し調整しております。

前期と比較して3億95百万円増加となる21億89百万円の親会社株主に帰属する当期純利益を計上し、当社創業以来、2番目となる最終利益計上を果たすことができました。

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第22期 (2021年3月31日)	第23期 (2022年3月31日)	増減
資産の部			
流動資産	67,405	72,821	5,416
現金及び預金	4,420	5,227	806
仕掛品	—	2	2
預託金	58,362	61,352	2,990
トレーディング商品	688	1,141	453
短期差入保証金	3,181	4,558	1,377
その他	1,067	570	△496
貸倒引当金	△314	△30	283
固定資産	1,142	1,277	135
有形固定資産	38	46	7
無形固定資産	437	490	53
投資その他の資産	666	741	75
資産合計	68,547	74,099	5,552
負債の部			
流動負債	60,968	63,656	2,687
トレーディング商品	266	242	△23
預り金	18	19	1
受入保証金	58,615	61,379	2,764
短期借入金	800	849	49
1年内返済予定の長期借入金	319	54	△265
1年内償還予定の社債	350	—	△350
未払法人税等	118	207	89
事業整理損失引当金	12	—	△12
その他	467	901	433
固定負債	258	1,192	934
社債	150	700	550
長期借入金	76	458	381
退職給付に係る負債	31	34	2
その他	0	0	—
負債合計	61,226	64,849	3,622
純資産の部			
株主資本	7,309	9,205	1,896
資本金	1,500	1,500	—
資本剰余金	842	842	—
利益剰余金	4,972	6,870	1,898
自己株式	△6	△7	△1
その他の包括利益累計額	11	45	33
為替換算調整勘定	11	45	33
非支配株主持分	0	—	0
純資産合計	7,321	9,250	1,929
負債・純資産合計	68,547	74,099	5,552

お客様の預かり資産が増加したこと等に伴い、預託金が前期末比で29億90百万円と大幅に増加しました。

お客様の口座数増加等に伴い、受入保証金が前期末比で27億64百万円増加しました。

有利子負債は前期末と比較して3億66百万円増加しました。この有利子負債の増加は、急激な為替相場の変動に備え、カバー先金融機関への差入保証金等に充当しております。

当期純利益の計上により、自己資本比率が前期の10.7%から12.5%と高まりました。

## Traders Group Vision for 2024

当社グループの事業戦略における中期的な経営目標

# Create the New Values

## 新たな価値を創造し続ける

1

新たなサービスにより  
生まれる価値

2

投資機会をもっと  
身近なものとし、  
投資によって得られる価値

3

株主・取引先など、  
関係する皆様と共に  
成長し得られる価値

1999年の創業来、個人投資家向けに最先端の金融デリバティブ取引サービスを提供するリーディング・カンパニーとなることを目指して成長を遂げてきた実績と、高いノウハウによる安定性と豊富な実績を誇るシステム開発能力で、多くの方にご支持いただけるサービスを構築してまいりました。

スピード感あるサービス提供及びシステムの開発体制を原動力とし、新たな金融サービスの創出、協業先との連携をさらに強固に押し進め、さらなる価値を創造してまいります。

## Our business & Core Competence

～コア事業への集中・進化により新たな価値創造に向けた挑戦へ～

金融事業とITテクノロジーサービスを当社グループの中核事業として展開し、相互に連携しながら、顧客第一主義のサービス展開と、ワンストップで進化し続けるシステム提供体制を構築し、事業シナジーを生み出しています。

### 金融 サービス

#### トレーダーズ証券

- FX (外国為替証拠金取引)
- 暗号資産CFD
- システムトレード
- バイナリーオプション
- 金融情報サービス

システムと一体化した改善施策をダイレクトにサービスに反映させ、より良いサービス、体験をお客様へ提供。

ビジネス上の課題や  
顧客の声をフィードバック  
金融業界の最新動向を検知

## Create the New Values

システムへ即時反映  
新システム・サービスの展開

### IT テクノロジー サービス

#### Nextop.Asia

- 金融システムサービス
- システム運用・保守
- システム/  
ビジネスコンサルティング
- R&D

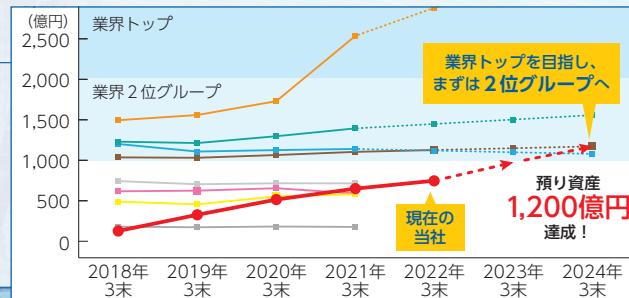
高速で改善を繰り返し、システムを常に改善。進化し続けるシステムをクライアントに提供。

### 【顧客預り資産倍増計画】

## 2024年3月期グループ目標

- 2024年3月期末に預り資産1,200億円を達成させ、FX業界トップをターゲット圏内に！
- 商品展開の多様化により、収益基盤の安定と事業の成長を加速！

### 業界順位の推移と今後3年間の予測 預り資産推移



## 中期的な経営目標に対する進捗状況と今後の取り組み課題

2022年3月期の預かり資産の目標額は750億円でしたが、着地は691億円となり、59億円の未達となりました。未達の要因としては、暗号資産CFD取引サービスの提供時期の遅れ、2021年10月のトルコリラの相場急変等によるものです。2023年3月期は、259億円の預り資産の増加のために以下の施策を実施します。

### トレーダーズ証券の課題

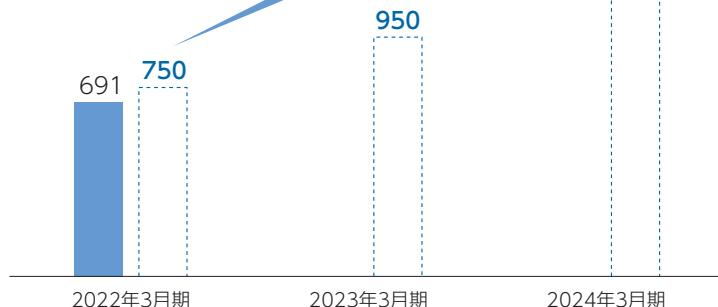
当社グループが強みとする店頭デリバティブ領域の金融商品に経営資源を集中的に投下し、特に、主力サービスである外国為替証拠金取引(FX取引)における商品性を強化することで、預かり資産の増加による収益基盤の安定と事業の成長加速を追求します。

### Nextop.Asiaの課題

将来の飛躍を見据えたシステム開発体制の大幅な拡充をいたします。これまでシステム開発は海外子会社2社含む国内外で実施しておりますが、引き続き商品多様化とサービス強化を図るためのシステム開発人員の大幅増強を行い、あわせてBCP(事業の継続的な成長)の観点から、今後は日本国内におけるシステム開発・運用体制の補整も視野に入れ、国内と海外拠点でスピーディーな開発体制を整えてまいります。

### 預かり資産の目標

■ 実績 □ 目標 (単位: 億円)



業界2位  
グループへ

## 目標達成に向けたトレーダーズ証券の取り組み

1

お客様のご要望に応えたサービスの改善や多様な投資ニーズにマッチする投資ツール・取引機能の提供や取引システムの強化



※ヒートマップ

2

マーケティング戦略の拡充による当社サービス認知度の向上

多種多様なSNSで活躍中のインフルエンサーとのタイアップ企画を強化するなど、情報発信ツールや配信ルートを増強により、対象フォロワー数の増加・確保による集客力のアップ

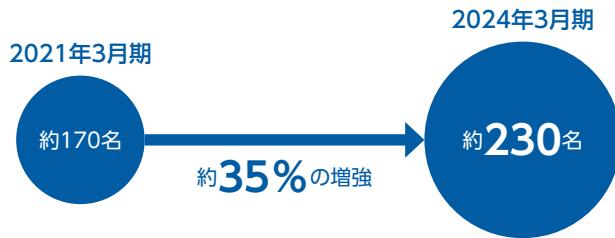


※FX市況の展望を動画配信

「みんなのFX」イメージキャラクター 川栄李奈



## システム開発競争の勝者が覇権を握る！～業界の勝者となるために必要な先行投資を実施～



### 大連拠点

コア技術を持った開発部門として、システム運用及び開発人員を増員

### ハノイ拠点

金融周辺システムの開発部門。システム運用及び開発、テスト人員を増員

### 東京拠点

システム運用人員及び開発人員を中心に増員、海外の開発運用体制を補完する機能も今後はより一層強化

### 仙台拠点

2021年開設、システムの運用体制強化に加え、BCP拠点としての機能も有し、東京と連携した開発体制を構築

### ポイント

当社グループ人員は、3分の2がシステム開発関連

全グループ従業員約300名のうち、約200名がシステム開発関連に従事

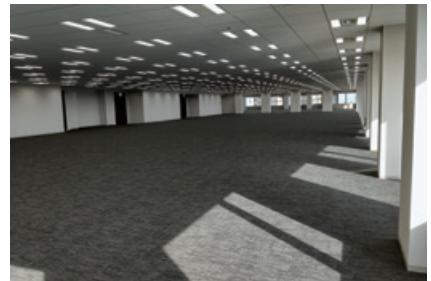
開発体制の大幅増強と新たなシステムの拡充を目指す重点施策を実行中！

## 本社移転に向けて取り組み中！

当社グループは、最近の事業拡大における人員増加(有能な人財確保)と今後のさらなるグループの成長・働き方改革によるオフィス環境の高機能化(DX化の徹底による業務効率性の向上)を図るため、オフィス移転を予定しています！！

移転先：恵比寿ガーデンプレイスタワー 28階

移転時期：2023年上期(予定)(※正式日程は決まり次第、お知らせいたします。)



## トレーダーズグループのサステナビリティ・マテリアリティ (取り組むべき重要課題)

～今、できること、そしてこれからの未来に向けて取り組むべき課題～

当社は、上場会社として、また、様々な事業を営むグループ企業体として、自己の利益だけを追求することなく、これからも、金融商品取引事業とシステム開発事業のそれぞれの活動の中で、中長期的に社会や環境に貢献しうるマテリアリティ (重要課題) への取り組みを進めています。

当社グループが事業を通じて、社会・環境とともに持続的(循環的)に成長するため、SDGsが持続可能な開発目標として掲げる諸課題の解決に向けた目標(ターゲット)の中で、ステークホルダーと適切に協働しながら、各テーマの課題に取り組んでいます。

E

Environment

### 環境的な課題の解決のために

企業活動を通じて負荷をかける地球環境問題に対する、企業としての取り組み (環境負荷の低減) の実践と継続

#### 社内ペーパーレスの推進【森林資源の保護】

社内業務に関して、紙の消費量を削減する取り組みを推進しています。当社グループでは、会議時のペーパーレス化(タブレット端末・ノートPCを用いた電子会議、インターネット会議の促進)や業務用書式の電子化(押印手続き廃止)、業務作業の自動化ロボット対応化(RPAの導入による業務効率化)を図り、森林資源の保護を通じた温室効果ガス削減(CO<sub>2</sub>削減)に貢献しています。また、契約書の全社的な電子化の推進(拡充)にも努めています。

#### 消費電力(使用量)の削減(抑制)【省エネルギーの推進】

当社グループの軸事業である金融商品取引事業は、顧客がインターネットを通じて取引を行うサービス形態であり、インターネット関連設備やシステム開発・保守運用のためのパソコン機器等、安定的なサービス提供やシステム稼働のために、電力を多く消費する事業構造となっています。消費電力の削減を通じた省エネルギー化を推進するため、オフィス内においても、積極的に電力消費(エネルギー使用量)の削減、省エネPC機器への順次リプレイスに取り組んでいます。

#### 社内におけるペットボトル利用の全面禁止

深刻化する海洋プラスチック問題の解決のため、社内会議や来客対応用の飲料には、ペットボトル利用を全面禁止、ペットボトル自販機の撤去等、脱炭素社会や海洋生物・資源保護に向けた取り組みに協力しています。

#### 本業を通じた環境問題に対する取り組み

現在、海外における小水力発電プラントの事業に関する投資ファンドを取り扱っており、今後も証券会社(金融ビジネス)の役割を活用した再生可能エネルギー等、地球環境の維持、持続可能な開発を支えるプロジェクト等を対象とした投資・金融サービスの提供等を目指し、検討を進めてまいります。



実施している取り組み

## S

## Social

## 社会的な課題の解決のために

実施している取り組み

## こどものみらい古本募金

内閣府等が主導する「子供の未来応援国民運動」の一環である「こどものみらい古本募金」(古本等を活用した寄付プログラム)に日本証券業協会が主導して証券業界全体で取り組みを始めており、当期からESG推進に係る具体的な取り組みの一つとして参加開始しました(同基金から子ども食堂や学習支援のNPO活動へ支援が行われています)。



## 金融リテラシー向上への取り組み

若年層・学生・女性等幅広い層への金融リテラシーの向上を目指した取り組みとして、トレイダーズ証券の為替ディーラーの講師派遣の取り組みを進めており、また、書籍出版・寄稿等・SNSによる情報発信、多様な活動も実施しています。



グループ会社のサステナビリティの取り組みの詳細についてはこちら

トレイダーズ証券



Nextop.Asia



## G

## Governance

## コーポレート・ガバナンスの高度化とより一層の充実に向けた取り組み

当社は、グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指して、実効性あるコーポレート・ガバナンスのあり方を不断に追求し、構築・強化を進めています。当社コーポレートガバナンスの詳細、コーポレートガバナンスコードへの取り組み内容についてはWebサイトでご覧いただけます(右記のQRコードより)。



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

当社グループの  
マテリアリティ推進体制

当社グループでは、ESG推進委員会に各事業会社の代表取締役も含めて、グループ全体でサステナビリティ経営を推進(関連する事業や取り組みを実践)しています。

今後も事業活動を通じた社会的課題の解決や新たな価値創造を目標に、社会情勢や事業環境等を見極めながら、マテリアリティに沿った取り組み(評価を含む)をグループ全社で(部門横断的に)進めてまいります。

当社  
取締役会

連携

ステーク  
ホルダー

情報発信

子会社



連携

## ESG推進委員会

サステナビリティを巡る当社活動のPDCAサイクルの中心的な機能を果たす組織

役割1	役割2	役割3	役割4
マテリアリティ分析と 項目の抽出・整理	アクションプランや目標 (ターゲット)の策定・実行	活動後の 検証・評価	新たな課題の洗い出しや 再目標値の設定等

## 会社概要 (2022年6月28日現在)

会社名	トレーダーズホールディングス株式会社
英訳名	TRADERS HOLDINGS CO.,LTD.
所在地	〒105-0013 東京都港区浜松町一丁目10番14号 住友東新橋ビル3号館7階
設立年月日	1999年11月5日
代表者名	代表取締役会長兼社長 金丸 貴行
従業員数	連結267名 単体21名 (2022年3月31日現在)
資本金	15億円
主な子会社	トレーダーズ証券株式会社 株式会社Nextop.Asia トレーダーズインベストメント株式会社
会社URL	<a href="https://www.tradershd.com/">https://www.tradershd.com/</a>

## 株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	42,000,000株
発行済株式の総数	29,160,947株
株主数	13,915名

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日 その他必要がある時は、公告により臨時の基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日／中間配当金9月30日
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (東京) 0120-094-777 (大阪)
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法	電子公告 公告掲載URL <a href="https://www.tradershd.com/">https://www.tradershd.com/</a> (ただし、事故、その他のやむを得ない事由が発生し、電子公告ができない時には、日本経済新聞に掲載いたします。)

## 役員の状況 (2022年6月28日現在)

代表取締役会長兼社長	金丸 貴行
常務取締役	新妻 正幸
常務取締役	福嶋健一郎
取締役	金丸 武嗣
社外取締役	市川 正史
社外取締役	川畑 大輔
常勤監査役	小俣 真一
社外監査役	菅川 洋
社外監査役	浅枝 謙太

## 単元未満株式の買取り・買増しについて

### 【ご注意】

当社の最低売買単位（1単元）は100株であり、単元未満株式（1～99株）については、証券市場で売買することはできません。

単元未満株式をご所有の株主様は、当社に対し、市場価格で、

- ・単元未満株式をご売却（買取制度）または
- ・単元未満株式につき、単元（100株）にするために必要な株数を当社からご購入（買増制度）いただくことが可能です。

### 【買取制度】

（例）65株をご所有の株主様の場合  
→当社が、65株を市場価格で買い取らせていただきます。

### 【買増制度】

（例）65株をご所有の株主様の場合  
→35株（ご所有の65株を100株にするために必要な株式）を、当社から市場価格でご購入いただけます。

### 【本件のお問い合わせ先】

〈証券会社に口座をお持ちの株主様〉  
株主様の口座のある証券会社  
〈特別口座に口座をお持ちの株主様〉  
左記の三菱UFJ信託銀行 証券代行部

お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、別途証券会社等にご確認ください。

特別口座に記録されている単元未満株式につき買取・買増請求をされる場合は、手数料は無料となります。

UD  
FONT  
見やすく読みまちがえ  
にくいユニバーサル  
デザインフォント  
を採用しています。

